

信州こどもカフェ推進上田地域プラットフォーム

主な取組内容

■ プラットフォームの実施

信州こどもカフェ推進上田地域プラットフォームでは、企業・支援団体・地域関係者と連携し、こども食堂を利用する家庭を対象とした体験型イベントや、構成員の学びと交流を目的とした研修事業を実施している。地域内のこども食堂ネットワークを基盤として、参加団体の調整、情報共有、当日までの準備・運営支援等を担い、円滑な事業実施を図っている。

令和7年6月28日には、TOHOシネマズ上田において、上田市内10か所のこども食堂から101名の親子を対象に、映画館での体験型イベントを実施した。子ども連れに配慮した上映方式で映画鑑賞を行い、受付後のチケット配布・飲食物受取、キャラクターとの記念撮影、集合写真撮影などのプログラムを行った。企業・関係団体・ボランティアが連携し、会場の動線や安全面に配慮した運営を行った。

また、令和7年度は構成員の学びの充実を目的として研修事業を実施した。8月9日の全体会では、令和6年度の取組状況と令和7年度活動計画を共有するとともに、こども家庭庁職員を講師に迎えた「こども家庭庁の取り組みについて」の講演会を開催した。講演後は交流会を行い、参加団体が抱える課題や今後の取組、プラットフォームへの期待等について意見交換を行った。

さらに、令和8年2月1日には「信州こどもカフェフェスティバル in 上田2026」を開催し、講演会、トークセッション、こども遊びコーナー、パネル展示等を実施した。会場では、子どもたちが本を手に取り見学する姿も見られ、地域での居場所づくりについて体験的に理解できる機会となった。

■ これまでの成果

映画館利用の機会が少ない家庭に体験の場を提供するとともに、企業・支援団体・地域ボランティアと協働して実施した取組を通じ、構成員相互の理解促進やこども食堂間の連携強化、外部資源との橋渡し機能を果たすことができた。

■ 寄付金・助成金・寄贈品の活用

令和7年度は、長野県社会福祉協議会や公益財団法人長野県みらい基金等を通じた支援を活用し、企業・関係団体と協働した体験型イベントや、プラットフォーム構成員を対象とした研修会を実施した。映画館での体験型イベント、全体会での情報共有および講演会・交流会、フェスティバルにおける講演会や居場所体験企画等を通じ、こどもカフェの理解促進と関係団体間の連携強化に取り組んだ。



今後に向けた課題

本事業は、みらい基金を通じた企業からの協力依頼を受け、地域のこども食堂の状況に精通するプラットフォームとして調整を担った。今後は、企業発の体験提供型企画に継続的に対応できるよう、情報集約・連絡調整体制の整理や役割の明確化が課題である。併せて、地域特性を踏まえた参加機会の拡充と、関係団体との連携強化を図る必要がある。